

地上デジタル
関連機器特集

メーカー各社の商品戦略

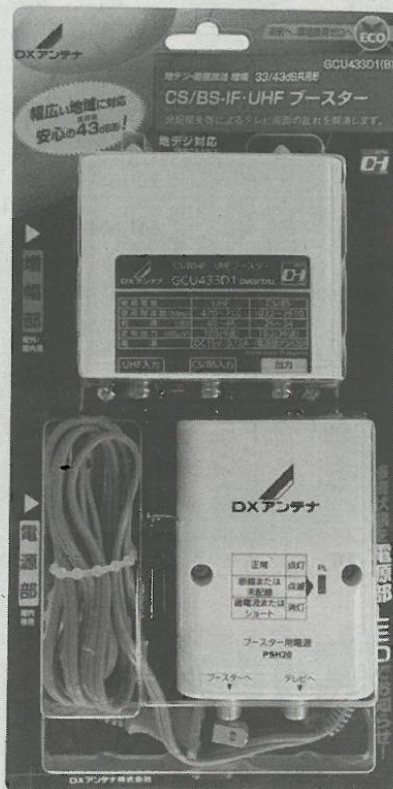
家庭用ブースター①とパック入り商品

DXアンテナ
7月半ばに発売したばかりの家庭用ブースター3機種、パック入り商品2機種

DXアンテナ

の計5機種を紹介する。これらブースター(CS/BS-IFブースターを

(33dB形)としても中・弱電界用(43dB形)としても使用できるもので、愛境に対応できる。



中電界用と中・弱電界用 受信環境に対応

称「デュアルブースターT M」にして市場に投入する。また、増幅部と電源部間からの同軸ケーブルの加工・接続状態を電源部のLEDで知らせる機能を搭載している。従来の家庭用ブースターは、設置する場所の地上デジタル放送の受信環境に合わせ、中電界であれば「30dB形」、中・弱電界であれば「40dB形」の2種類を現場で用意し、実際に設置する場所の受信レベルを測定し、選定していた。このほか①出力モニター端子を増幅部ケース内に設けたため、従来品のように防水キャップを外す手間もなく、簡単に出力レベルを測定できる②増幅部は従来品と比べ20%小型化を実現した③増幅部のマスト取付金具を回転させることにより、水平マストにも取り付けられるようになった④などの特長を持っている。

同デュアルブースターは、入力レベル調整を3段階で調整できる機能を搭載したことで、中電界用としても、中・弱電界用としても使用できることから、現場で迷うことなくスイッチひとつでさまざまな受信環境に対応できる。